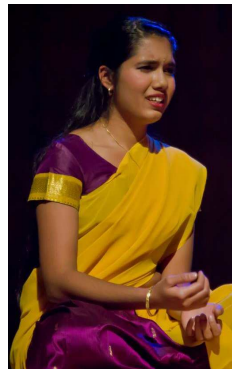


インド音楽は宗教との結びつきが大変強く、人々は音楽を通して神と対話し、信仰を深めています。ヒンドゥー教の神々を賛美する歌詞にはインド人の思想や人生観が織り込まれていますが、これらのインドの神様は仏教とともに日本に伝えられています。

ヒンドゥー教の女神サラスヴァティは学問と芸術の女神として、いつも弦楽器ヴィーナを携えた姿で描かれます。弁財天はこのサラスヴァティがルーツで、日本では琵琶に変わっています。ラクシュミは吉祥天、インドラは帝釈天、シヴァは大黒天と数多くのヒンドゥー教の神様が日本のお寺に祭られています。

南インドの音楽は日本ではあまり知られていませんが、200以上の音階があり、数学的に計算された複雑なリズムを即興的に組み合わせるなど、高度な演奏技術が要求される芸術性の高い音楽です。南インドでは音楽ホールやお寺などでコンサートが行われ、人々に親しまれています。

このたびは源正寺ご住職のご厚意とご支援により、本堂にてコンサートを開かせていただくこととなりました。このような機会をいただいたことに心より御礼申し上げます。



アクセス

☆JR 吉祥寺駅北口より バス 15分

①番のりばより

向台町5丁目行

桜堤団地行

武蔵野営業所下車

進行方向徒歩3分

☆JR 三鷹駅北口より バス7分

②番のりばより

柳沢駅行

東伏見駅北口行

武蔵野営業所下車

